

Title	ヘロドトス著, 青木巖譯, 歴史(ヒストリアイ)上巻
Sub Title	
Author	近山, 金次(Chikayama, Kinji)
Publisher	三田史学会
Publication year	1941
Jtitle	史学 Vol.19, No.4 (1941. 3) ,p.142(726)- 142(726)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19410300-0142

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

氏のそれを生むに至つた。この運動と關聯してショットウエル教授は前記の文明記録叢書を計劃した。しかるに米國が世界大戰に參戰するに至つた結果果も軍國の事務に携はることとなつたので、その七卷を刊行しただけで中斷してゐたが、この刊行の事業はその後コロンビア大學で繼承せられ、目下 Austin P. Evans 教授の下に續刊(約四十卷)せられつゝある。

舊著はそれ等の資料及び批判的著作に指針を與へんとするにあつたが、その間に於ける米國史學の發達は本書の目的を一變せしめ、新著に於ては書目解題の案内は一層完備せるその後の諸著に譲り、主として修史の歴史を説くことになつた。しかし修史は『變化する社會の單なる反映に過ぎない』とする氏の史學史はその名を超えるものであるが、ハーバード大學の W. S. Ferguson 教授が評してゐる如く(A. H. R. Vol. XLV. pp. 849—851)その目的は十分に達成せられてゐる。前には不戰條約の起草者であり今はコロンビア大學の國際關係史を擔當する教授が、この好著を擴大して中世及び近世の部分に對しても續刊し得るに至つたことは、我等の大に欣びとするところである。(間崎万里)

ヘロドトス著 歴史 (ヒストリアイ) 上卷
青木 巖 譯

アリストテレスの研究家、青木巖氏がヘロドトスの歴史の翻譯に取かかられたと聞いたのは此の春のことであつたと思ふが、僅か數個月にして早くも前半を上梓された其の速度に一驚させられたものは筆者一人ではあるまい。氏のギリシヤ語に關する蘊蓄

は既に人の知る所、譯文も極めて平易である。泰西史學の最古の古典たるヘロドトスの書、當然有つべき其の譯書を終に此處に得て我等古典を愛讀する者は言葉に言ひ盡せぬ大きな喜びを覺える次第である。

歴史の父と言はれるヘロドトスの書はベルンハイムの所謂物語風の歴史であり、ニーチエの言葉を藉りて言へば記念碑的な歴史であるかもしれぬ、其處には單にギリシヤ民族の記憶があるのみで意志がないかもしれぬ、然し最古の東西争鬪史を描く其の書は同時にギリシヤ民族そのものが眞のギリシヤを發見した時代の貴重な記録をとどむる書物として、其の史的價値は無限なものである。我々に當時の興味ある幾多の材料を提供してくれる此の書の一讀は凡ゆる史學研究家にとつて必要缺くべからざるものであることは言を俟たぬ。今、此處に忠實平易な其の邦譯を得て誠に欣快に堪えぬものがある。

最後に強ひて難を言ふとすれば誤植が少くないことである。殊に前半に於てその多くが認められる様である。本書の如き出版に於て其れは特に遺憾である。

なほ譯者の勞を謝すと共に其の健康を祈り、下卷の出版を鶴首待望する次第である。生活社刊、定價金四圓八拾錢也(昭十五、十、二十二、近山金次)

蒙古學報 第一號

(蒙古研究所
研究部發行)

多年蒙古民族との親善提携に力を致すと共に、「善隣協會月報」